

福山城築城四〇〇年記念

二〇二二年度(令和四年度)福山城博物館テーマ展

大島能楽堂展

— 福山より世界へ ユネスコ無形文化遺産 能楽 —



2022年(令和4年)12月17日(土)～2023年(令和5年)2月19日(日)

*月曜日休館・月曜が祝日の場合は翌火曜日 *12月28日(水)～31日(土)の間休館・1月1日(日)～3日(火)の間開館 *1月9日(月・祝)開館、10日(火)休館

会場：福山城博物館 1階企画展示室 広島県福山市丸之内1丁目8番 TEL.(084)922-2117

料金：500円(400円) *高校生以下及び福山市・府中市・神石高原町在住の65歳以上の方は無料 ※()内は20名以上の団体料金

主催：(公財)ふくやま芸術文化財団・福山城博物館・福山市

どうぼくじょうわちゅうからおり 桐箔地団扇模様 唐織・能面 小面 出目洞水作 江戸時代・能面 翁 福来作 室町時代(全て大島能楽堂蔵)



こんじさくら かすみち よう めいほく
紺地桜に霞模様 縫箔 (大島能楽堂蔵)

福山開祖である水野勝成は、能をこよなく愛し、自ら舞ったと言われていいます。それは、市内寺社仏閣に奉納された勝成愛用の能面・能衣装等からも裏付けられます。そうした気風は阿部時代にも継承され、福山藩士大島七太郎が喜多流宗家に師事することで、備後一円に能楽を普及させます。そして七太郎を初代とする大島能楽堂は、2016年(平成28年)に福山市政100周年を祝して創作された新作能「福山」等、福山を拠点に日本国内、そして世界で活躍を続けています。この度は築城400年を記念して、大島能楽堂が所蔵する能衣装・能面・楽器等、その大島能楽堂の世界と、ユネスコ無形文化遺産に登録された能について紹介します。



さんこうじよ かうち さく
能面 三光尉 河内 作
江戸時代 (大島能楽堂蔵)



わかおとこで めいゆうすい さく
能面 若男 出目友水 作
江戸時代 (大島能楽堂蔵)



ほんにや
能面 般若 作者不詳
江戸時代 (大島能楽堂蔵)

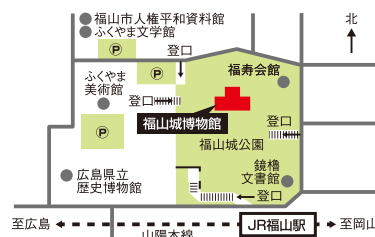


むらさきせむしめんざ ふじ ち よう ちやうけん
紫地扇面下がり 藤模様 長絹 (大島能楽堂蔵)

福山城博物館の入館方法について

福山城博物館では、来館者の皆さまが十分に楽しめる環境をつくるために、土・日・祝に限り事前予約を受け付けております。当日券も準備しておりますが、是非とも事前に予約されることをお勧めします(平日は予約不要)。詳しくは右記 QRコードをお読み取り頂くか“福山城博物館事前予約サイト”で検索ください。

予約サイトはこちら



(公財)ふくやま芸術文化財団

福山城博物館

〒720-0061 広島県福山市丸之内一丁目8番
TEL.(084)922-2117 FAX.(084)922-2126
E-Mail:castle@city.fukuyama.hiroshima.jp

※団体(20名以上)で来館を希望される場合は、必ず電話にてお問い合わせください。

※2022年(令和4年)11月現在での状況であり、コロナウイルス感染拡大の状況によって、入館方法を変更する場合があります。ご了承ください。